



# 大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyou

Elementary School

<http://www.taisyo.obihiro.ed.jp>

No.54

平成29年11月29日

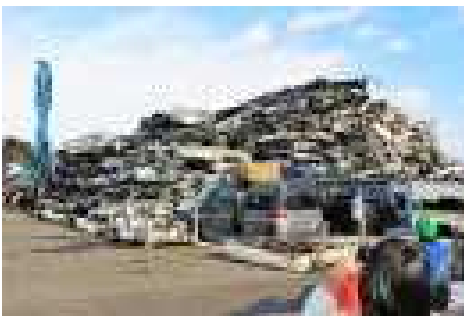
吐く息も白くなり、日高の山並みも装いを白一色に変えつつあります。冬が到来し、厳寒となりつつありますが、大正っ子は元気に学校生活を送っています。さて、2学期の授業日も残すところ、あと19日間となりました。今号では、学校内外での子どもたちの様子を中心にお伝えしていきます。明日・明後日の参観日もよろしくお祈りします。

## 乗り物利用学習5年生 ～教室では学べないことをたくさん学習してきました。～

11月24日(金)、5年生は、「リサイクル&新聞社のひみつを探ろう」ということで、(株)エルバ北海道様にて、リサイクルを中心とした工場見学とリサイクル工程に関する学習(下写真左から2枚)、十勝毎日新聞社にて、放送関係や新聞関係の仕事についての学習(下写真右1枚)をしてきました。昼食・休憩は帯広市役所で行わせていただきました。おかげさまで貴重な体験ができ、子どもたちの興味・関心を高め、記憶に残るものになったと思います。愛国小学校の子どもたちとも一緒に見学しましたので、来年の修学旅行に向けての準備にもつながっております。



リサイクル工程の見学



数えきれない沢山のリサイクル品



十勝毎日新聞社内OCTV様の説明

## 帯広市PTA連合会研究大会に参加して

11月25日(土)13時10分より、とちプラザにて、第61回帯広市PTA連合会研究大会・兼子どもの学力・生活習慣改善研修会が開催されました。本校からも佐竹PTA会長をはじめ6名が参加してまいりました。大まかな内容としましては、次の通りで、今までにない人数の参加(とちプラザ大集会室がほぼ満室・一部立ち見の方も出るほどの盛況)になりました。今回の研究大会の主旨は、子どものためにできること～変化の激しい社会の中で、生涯学習の観点に立ち、学校・家庭がそれぞれ機能を有機的に果たしながら地域と連携し合い、子どもの未来と豊かな可能性を活かせるような成人教育を推進する～とあり、熱心に講師の方の説明を聞きました。私も、安心安全な体制整備や子どもに役立てられる教育環境整備について学ぶことができました。特に、基調講演の講師の菅井氏から、「横浜出身ですが、北海道に住みたくて赴任地が北海道になるのが私の希望で夢が叶いました。」「私の知り合いの方が、中でも帯広市は住みよい場所と好評です。」とお話しされたのがたいへん嬉しく印象に残りました。基調講演と分科会は次の通りです。

- ①基調講演「予測できない自然災害・備えと対策」講師 菅井貴子氏(防災士・気象キャスター・気象予報士・上級ファイナンシャルプランナー)・・・下写真参照。
- ②分科会・・・3か所に分かれて実施
  - 1「子どもの強い心を育む」分科会『挑戦から夢実現へ』講師 敦賀信人氏(長野オリンピックカーリング日本代表スキップ(主将)・漁師)
  - 2「子どもの安心・安全を守る」分科会『安全マップがPTAを変える』講師 松村博文氏(道立総合研究機構建築研究本部建築総合研究所地域研究部長・事故防止アドバイザー)
  - 3「子どものやる気を引き出す」分科会『学力向上の鍵!!親子でハッピー生活習慣～魔法のお片付けレッスン～』講師 兼子久実氏(整理収納アドバイザー・家庭生活カウンセラー)



## 体験的な学習（出前授業）を通して ～大正っ子の学びは深まっています。～

### 11月28日（火）3年：大豆DEレシピ教室 ～ 地域の方から多くのことを教わりました ～

3年生は、総合的な学習の時間の一環（おびひろっ子絆を育む支援事業）として、大豆DEレシピ教室を行いました。写真は講師の国島雪絵さんのレクチャーを受けて、枝豆（今年にじゃがまる農園で収穫した枝豆を冷凍保存し解凍したもの）を使った「ずんだ白玉」「枝豆ポタージュ」「スティック春巻き」づくりに挑戦しました。今回の特徴は、可能な限りレシピ表（調理のやり方表）を見ながら、レシピ通りに行き、自分たちの力で作り上げようとするのが目標でした。写真は、そうした子どもたちの様子を収めたものです。子どもたちは、準備から調理、片づけまでを積極的に行い、美味しくいただきました。また、国島さんからは、様々な調理が可能で変身自在な大豆の特色など、様々なことを教わりました。子どもたちは試食しながら、「とてもおいしい。」「（給食もあり多くは食べられないので）もっと食べたかった。」「この春巻きに枝豆・チーズが合うね。」「枝豆は、いろんなのにできるんだね。」など、少しの間にも沢山の感想が出ておりました、大豆の魅力を感じることができたようです。

今回のレシピ教室で、本年度のじゃがまる農園の収穫後の様々な教育活動が終了しました。これまで、農園協力委員の皆さんをはじめ、多くの方々のお力添えをいただきました。「ふるさと大正」にふれ、大正産野菜の魅力や食の大切さについて学ぶ取組は、今年も多くの実りをもたらせました。本当にありがとうございました。



## 家族ふれあいキャンペーン「とかち家族だんらんノーテレビデー」

七中エリアの日で取り組んでいる「アウトメディアの取組」をエリアで独自に行っていたところですが、北海道全体で取り組んでいる「ノーテレビデー・ノーゲームデー」（11月・1月）を、11月7日の七中エリアの日重ねて取組をしていただくところを8世帯でご協力いただきました。ありがとうございました。児童の感想・保護者の感想を載せましたのでご参照ください。次回は1月7日を本年度最終の七中エリアの日（アウトメディアの取組日）とします。次回は、より多くのご参加と感想等のご協力をよろしくお願いします。

### （児童の感想）

- よくできたと思います。
- よていの日にはわすれてしまっていたけど、ちがう日にはできた。
- テレビを見ない方が落ち着く。
- チャレンジしていないけど、ゲームやテレビ、ビデオを見ていない。
- テレビがなくても楽しかった。
- テレビを見すぎるとあたまがふらふらするから、休み休みやったほうがいい。
- 野球のテレビを見たかった。



### （保護者の感想）

- チャレンジ目標に目を通すことが出来、自分（本人）なりに今日は何時に何をするかを決めながら行動が出来ていたと思います。
- 本人からあまりテレビやゲームをやらたがらないが、姉が観たり計画通りにいきませんでした。姉妹でもチャレンジカレンダーを相談して合わせる必要がありました。
- テレビを見なくても不自由なく遊んでいました。こういった機会を定期的に取り組むことで、色々なことに興味をもってもらえればと思います。
- ぜんそくがあり、運動があまりなかったので、体調管理をしっかりがんばりましょう。家庭学習ももう少し長くしてみよう。
- スケートが始まり夕方家に居ることが少なくなったので、テレビを見だしたら止まらない子ですが、テレビなしでもちゃんと過ごさせていました。
- テレビをみたい気持ちをがまんして、約束を守ってよく出来たと思います。
- 少年団で夕方はほぼいないので、ゲームはほとんどやらないのですが、毎朝のプロ野球ニュースチェックができないのが残念そうでした。10日にテレビがこわれたので、4日程強制的にノーテレビデーとなり、兄弟たちで遊んですごしていました。

## お知らせとお願い

- 降雪や凍結などから、外の遊具については安全面の配慮で、11月27日から使用休止になりました。
- 高病原性鳥インフルエンザに関する注意情報・・・環境省より、11月9日に島根県松江市で回収された死亡野鳥（コブハクチョウ）から、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）が検出されたとの発表がありました。対策としましては、①手洗いとうがいの励行、②死んだ野鳥などを発見した場合には、手で触れないこと、③野鳥には近づかないこと、近づいた場合や排泄物等に触れた場合には、手をきちんと洗い、うがいをする、④不必要に野鳥を追い立てたり、つかまえようとしないうこと、⑤鳥や動物を飼育している場合は、それらが野鳥と接触しないようすることの5点です。それ以外にも、野鳥を呼び寄せようとするようなエサとなりうるパンや穀物類、生ゴミ類を周囲に置かないことも大切です。また、正しい知識をもつことも大切です。鳥インフルエンザは、鶏肉や鶏卵を食べることによって人に感染することではなく、また、鳥インフルエンザは、人に感染する可能性は極めて低いものです。根拠のない噂などにより混乱したりせず、正確な情報に基づいて冷静に対応するようにお願いします。